

検討の観点と内容の特色

高等学校用

科目名		教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
書道Ⅰ		書Ⅰ	38 光村	書Ⅰ 705	光村図書出版
観点		特色・具体例			
1		内容の選択・程度			
●学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ●基礎的・基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。		●書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書の伝統と文化に関わる資質・能力を育成できるよう、〔共通事項〕を意識し、表現と鑑賞の教材が相互に関連を図りながらバランスよく配置されている。 ●「あなたは、どの楷書が好き?」「鑑賞を始めよう」では、好きな古典を選ぶ・比べる・イメージを言語化するといった主体的なアプローチが提示されている。生徒が自ら感じ、学び、考えることを通して、書に関心をもち、生涯学習の基礎となる知識や感性を能動的に習得できるよう工夫されている。 ●「漢字の書」では、唐の楷書及び王羲之の行書を重点的に取り上げ、鑑賞と臨書を通して字形の特徴や用筆の基礎・基本を確実に習得できる構成となっている。そのうえで、書風の多様性と背景にある文化への関心を広げられるよう、楷書では造像記や摩崖の書、行書では「風信帖」や三筆・三跡の書が資料図版とともにわかりやすく紹介されている。篆書・隸書・草書では、書体の特徴を捉えやすいよう典型的な古典が精選されている。 ●「仮名の書」では、「蓬萊切」で仮名の特徴的な筆使いを、「高野切第三種」で連綿の基礎・基本を、「継色紙」「寸松庵色紙」「升色紙」で散らし書きの構成を、段階的かつ実践的に習得できるよう工夫されている。 ●「漢字の書」「仮名の書」では、古典を通して学ぶことを焦点化し、字形や用筆のポイントをわかりやすく図解することで、生徒が理解しやすい構成となっている。解説に書かれた歴史的・文化的背景は、釈文・大意と合わせて、当該古典への理解を深め、興味・関心を高める内容となっている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、「心に響く言葉を書く」「好きな言葉を書こう」など、言葉に着目させる教材を掲載し、「漢字の書」「仮名の書」で習得した知識・技能をもとに、生徒が主体的に構想し、自己表現できるよう工夫されている。 ●各領域の「創作」では、構想から制作、相互鑑賞に至る手順が3ステップで示され、生徒の目線に立った配慮がうかがえる。			
2		組織・配列・分量			
●内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。		●各領域において、学習指導要領の指導事項が適切に教材化され、相乗的かつ効果的に展開できるよう配列されている。 ●導入として、「書道で学習すること」「書写から書道へ」が設置され、中学校国語科書写からの円滑な接続を図るとともに、生徒が見通しをもって高等学校芸術科書道の学習に取り組めるよう配慮されている。 ●「漢字の書」「仮名の書」は、文字の歴史的変遷を概観したうえで、臨書と鑑賞を通して字形や用筆、紙面構成の基礎・基本を学び、身につけた知識・技能を生かして創作できるよう、効果的に組織・配列されている。 ●「漢字仮名交じりの書」は、「漢字の書」「仮名の書」の後に配置され、古典の臨書を通して習得した知識・技能を生かして、主体的に自己表現できるよう組織・配列されている。 ●「篆刻・刻字」は取り外しのできる16ページの小冊子に収録されており、各校のカリキュラムに即して活用することができる。「篆刻」では白文印と朱文印、「刻字」では陰刻と陽刻の制作手順が、写真とともに丁寧に解説されている。 ●「資料」は、姿勢・執筆など基礎知識をまとめた「書写・書道の基本」、書式を整理した「生活の中の書」、書道用語一覧などを収録した「書道事典」の3部構成となっており、「書道Ⅰ」の学習を日常に生かすための配慮がなされている。			
3		表記・表現および使用上の便宜			
●学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ●用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ●印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。		●巻頭では、漫画作品の言葉を題材に、言葉を書で表現する魅力を伝え、生徒の学習意欲を高められるよう工夫している。 ●教科書紙面に「二次元コード」がある教材では、運筆動画・半紙手本・写真資料など、スマートフォンやタブレットを使って閲覧することができる豊富な資料を用意している。 ●古典や古筆、名筆の図版はフルカラー・高精細で迫真性があり、印刷も鮮明である。唐の四大家による楷書の法帖や「高野切第三種」の紙面が見開きで再現され、巻末には「風信帖」「蘭亭序」の原寸大全景、「龍門二十品」を一覧できるページが設けられている。臨場感あふれる紙面構成と鮮明な図版によって書の美を伝え、生徒の興味・関心を高めている。 ●随所にコラムを設置し、また、生徒になじみのある文士の書の特集ページを設けるなど、書の伝統と文化に対する理解を深めるとともに、他の芸術分野や国語、歴史の学習にもつながる多角的な話題が提示されている。 ●解説文は簡潔かつ平明であり、専門的な用語には適切な説明が施されている。用語や表記も統一されている。また、活字の書体や大きさ、行間は適切に設定されており、読みやすい。領域ごとに中扉やインデックスを付して検索性を高め、生徒が教科書を主体的に活用できるよう配慮されている。 ●特別支援教育及びカラーユニバーサルデザインの専門家による全ページの校閲を受けており、全ての生徒にとって見やすくわかりやすい紙面が実現されている。 ●表紙はポリプロピレンラミネート加工により、墨による汚れに対応しやすくなっている。 ●ページを折り返すことのできる中綴じ製本を採用しており、高精細な古典画像を机上に置いて臨書できるよう配慮されている。環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、環境への配慮もうかがえる。			
4		総合所見			
●上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。		●「書道Ⅰ」の学習に必要な教材が、内容的にも分量的にもバランスよく配分されている。また、生徒の興味・関心を喚起する魅力的な教材と、鮮明な写真によって、生徒が書の美に親しみ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。			

	高等学校用	科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名	高等学校用	科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
	書Ⅱ	書道Ⅱ	書Ⅱ	38光村	書Ⅱ704	光村図書出版	書Ⅲ	書道Ⅲ	書Ⅲ	38光村	書Ⅲ703	光村図書出版
観点	特色・具体例						特色・具体例					
1	内容の選択・程度						内容の選択・程度					
●学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。	●書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書の伝統と文化に関わる資質・能力を育成できるよう、〔共通事項〕を意識し、表現と鑑賞の教材が相互に関連を図りながらバランスよく配置されている。						●書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書の伝統と文化に関わる資質・能力を育成できるよう、〔共通事項〕を意識し、表現と鑑賞の教材が相互に関連を図りながらバランスよく配置されている。					
●基礎的・基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	●「漢字の書」では、各書体を代表する古典を中心としつつ、時代や書風など多様な観点から精選された古典が偏りなく教材化されている。特に、初めて重点的に学習する篆書・隸書・草書について、半紙臨書例や基本点画の運筆のポイントなどを示し、書体の特徴と用筆・技法の基礎がわかりやすく解説されている。						●「漢字の書」では、創造性を育む「書道Ⅲ」の目標にふさわしい個性豊かな古典が幅広く網羅されている。また、近代の書家による作品を手がかりに、書への理解を多角的に深められるよう配慮されている。					
	●「仮名の書」では、書道Ⅰで学習した古筆との系統を踏まえつつ、鑑賞の目と生徒の感性を養うのにふさわしい、多彩な特質をもつ古筆が適切に選定されている。また、書の美を構成する諸要素について、図解や作品の比較などを通して理解を深められるよう、紙面構成も工夫されている。						●「仮名の書」では、平安から江戸までの古筆が時代別に掲載されている。また、各時代の古筆に関連した書論や現代の書家による作品も取り上げられており、伝統文化としての書に対する理解を深め、多様な美を感じられるよう配慮されている。					
	●「漢字仮名交じりの書」は、自らの感興や古典の書法をもとに、字形や線質、用筆、用具・用材や紙面構成を工夫し、効果的な創作につながるよう配慮されている。						●「漢字仮名交じりの書」では、現代社会に即して効果的に自己を表現した作品や現存作家の提示する新しい書の在り方、文士の手紙、生活の中の書など、多様な作品が掲載され、生徒の視野を広げる配慮がなされている。					
2	組織・配列・分量						組織・配列・分量					
●内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	●「漢字の書」では、導入として「個性豊かな漢字の姿」が設置され、各書体の変遷を扱っている。全体像を把握した上で各書体の習得に向かう配列は、生徒の理解を深め、学習意欲を促進する。また、創作は五書体の学習で身につけた知識・技能を生かして行えるよう段階的に配列されている。						●「漢字の書」「仮名の書」では、臨書や鑑賞を通して知識・技能と感性を高めることで、創造的かつ個性豊かな創作につなげられるよう効果的に組織されている。					
	●「仮名の書」では、表現技法（墨継ぎ、連綿、平仮名・変体仮名、線質）、紙面構成（散らし書き「自然美」）、用具・用材の3つのテーマを設定し、段階的に学習できるよう教材化されている。						●「漢字仮名交じりの書」では、名筆の鑑賞を通して現代社会における書の意義を実感することで、創造的かつ個性豊かな表現を探究できるよう配慮されている。					
	●「漢字仮名交じりの書」は、漢字や仮名と相互に関連を図りながら学習を深め、個性豊かに表現できるよう工夫されている。						●「篆刻・刻字」は、多面的な鑑賞の観点を獲得できるよう組織されており、美への総合的な感性を高めることができる。					
	●「篆刻」「刻字」とともに制作過程を写真入りのフローチャートで示し、要点が丁寧に示されている。						●「書論」の意味や鑑賞への生かし方をコラムで解説している。また、古典・古筆と関連づけながら随所で取り上げ、書の歴史と伝統を尊重し、書に関する理解を総合的に高められるよう配慮されている。					
	●「書の特色と歴史」は、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の古典や名筆を参照しつつ、書の特質と歴史的変遷を確認できるよう工夫されている。						●日中の書の伝統とその背景にある諸文化への理解を深め、それらを尊重する態度を養う資料として「中国・日本書道史略年表」が掲載されている。					
3	表記・表現および使用上の便宜						表記・表現および使用上の便宜					
●学習意欲を高めるための配慮がなされているか。	●教科書紙面に「二次元コード」がある教材では、運筆動画・臨書手本・写真資料など、スマートフォンやタブレットを使って閲覧することができる豊富な資料を用意している。						●教科書紙面に配置された「二次元コード」からは、運筆動画・写真資料などの豊富な資料を、スマートフォンやタブレットを使って閲覧することができる。					
●用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。	●古典や古筆、名筆の図版はフルカラー・高精細で迫真性があり、印刷も鮮明である。						●古典や古筆、名筆の図版はフルカラー・高精細で迫真性があり、印刷も鮮明である。臨場感あふれる図版と大胆な紙面構成により、書の美を体感できる。					
●印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。	●随所にコラムを設置し、生徒になじみのある文学作品の直筆原稿を掲載するなど、書の伝統と文化に対する理解を深めるとともに、他分野の学習にもつながる多角的な話題が提示されている。						●書文化への理解を深めるコラムが随所に掲載されている。					
	●解説文は簡潔かつ平明であり、用語や表記も統一されている。						●解説文は簡潔かつ平明であり、用語や表記も統一されている。					
	●特別支援教育及びカラーユニバーサルデザインの専門家が校閲しており、全ての生徒にとってわかりやすい紙面が実現されている。						●特別支援教育及びカラーユニバーサルデザインの専門家が校閲しており、全ての生徒にとってわかりやすい紙面が実現されている。					
	●表紙はポリプロピレンラミネート加工により、墨による汚れに対応しやすくなっている。						●表紙はポリプロピレンラミネート加工により、墨による汚れに対応しやすくなっている。					
	●ページを折り返すことのできる中綴じ製本を採用しており、古典図版を机上に置いて臨書できるよう配慮されている。環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、環境への配慮もうかがえる。						●ページを折り返すことのできる中綴じ製本を採用しており、古典図版を机上に置いて臨書できるよう配慮されている。環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、環境への配慮もうかがえる。					
4	総合所見						総合所見					
●上記観点から見た、全体的・総合的な教科書の特徴。	●「書道Ⅱ」の学習に必要な教材が、内容的にも分量的にもバランスよく配分されている。						●「書道Ⅲ」の学習に必要な教材が、内容的にも分量的にもバランスよく配分されている。					
	●生徒の興味・関心を喚起する魅力的な教材と、大判を生かした迫力のある紙面、鮮明な写真によって、生徒が書の美に親しみ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。						●「A表現」の各分野および「B鑑賞」の指導事項のうち、それぞれ一つ以上を選択しても、合わせて扱っても、効果的に学習することができるよう工夫されている。					